

大地震・大津波が発生した時のタイムライン

大地震・大津波が発生した場合、まずは揺れが収まるまで身の安全を確保します。避難情報が発令されたら、避難場所や高台等へ避難し、津波警報等の解除後、避難所へ移動します。

避難所の運営は、町職員を派遣し、町民の皆さんと協力し行っていくものですが、町職員も災害発生直後は自身の身の安全確保を優先します。また、地震・津波により、道路ががれき等で封鎖され、すぐに避難所へ駆け付けることが困難な場合があるため、ここでは、災害発生後から避難所に町職員が来るまでの間、町民の皆さんに取っていただく行動の一例をタイムラインにしました。

！ 地震発生

揺れを感じたら、テーブルなどの下で身の安全を確保する（机がない場合は座布団などで頭を保護する）

！ 揺れが収まったら（地震発生から約1から2分後）

- ▷火元の確認や家族の安全を確保する
- ▷テレビやラジオをつけて情報を集める

！ 避難場所へ避難（地震発生から約3から5分後）

- ▷避難する際は、隣近所に声をかけながら避難する
- ▷自力で避難することが困難な人がいたら、サポートし、一緒に避難する
- ▷避難場所で身の安全を確保する（地震発生から約10～30分後）
- ▷ラジオや携帯電話などで情報収集し、警報が解除されるまで、避難場所で安全を確保する
- ▷一部の避難場所は、町で整備した備蓄倉庫（毛布・ランタンなど）があるので、必要なものを取り出し、活用する
- ▷大規模災害時は避難場所へ町職員が駆け付けることができない場合があるため、避難者同士で助け合い、協力し合う

！ 避難所へ移動（地震発生から半日から1日経過後）

- ▷津波警報等の解除後、最寄りの避難所へ移動する（避難場所の備蓄倉庫からランタン等を持って行く）
- ▷電気・水道・ガスが使用できるか確認する
- ▷不足している物資について、避難者同士で話し合い、まとめておく
- ▷避難者同士で声を掛け合い、助け合う

！ 避難所に町職員が到着（地震発生から1日から3日経過後）

- ▷避難所の状況、不足している物資、避難者の健康状態などを町職員へ伝える
- ▷町職員等と協力し、避難所運営にあたる

▼湖南地区防災広場の備蓄倉庫



災害時における携帯電話等の充電コーナーの設置について

大規模な災害が発生した場合には、スマートフォン等が重要な情報源や緊急連絡手段となります。

このことから町では災害時に、役場庁舎や各主要施設において、携帯電話等の充電コーナーを設置する場合があります。設置する際には、ホームページや防災行政無線により、設置場所をお知らせします。



1年に1回は防災行政無線の点検を

防災行政無線は停電時でも、乾電池が入っていれば使用できます。乾電池の残量が少ないときは、防災行政無線から警告音が鳴りますので、取り替えましょう。

また、長期間乾電池を入れたままにすると、液漏れの原因となります。液漏れしてしまうと、機械の故障や皮膚に付くと身体に悪影響を及ぼす可能性があるため、1年に1回は点検し、新しい乾電池と交換しましょう。

感震ブレーカーを設置しましょう

感震ブレーカーは地震発生時に設定値以上の揺れを感知したときに、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具です。感震ブレーカーの設置は、不在時やブレーカーを切って避難する余裕がない場合に電気火災を防止する有効な手段です。

感震ブレーカーを設置して、電気火災から家と地域を守りましょう。

町では、設置支援として住宅リフォームの際に、工事費が10万円以上かかる場合など、住宅リフォーム支援助成金で設置費用を助成できる場合がありますので、建設課へお問い合わせください。

▼感震ブレーカーの種類

分電盤タイプ（内蔵型）	分電盤タイプ（後付型）	コンセントタイプ	簡易タイプ
分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを落として電気を遮断。	分電盤に感震機能を外付けするタイプで、漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能。	コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断。	ばねの作動や重りの落下によりブレーカーを落として、電気を遮断。
約5～8万円（標準的なもの）	約2万円	約5,000円～2万円	3,000円～4,000円程度
電気工事が必要	電気工事が必要	電気工事が必要なタイプと、コンセントに差し込むだけのタイプがある	電気工事が不要

●地震が引き起こす電気火災とは・・・

地震の揺れに伴う電気機器からの出火や、停電が復旧したときに発生する火災のことです。

東日本大震災における本震による火災全111件のうち、原因が特定されたものが108件で、58件が電気関係の出火でした。

災害の まめちしき

👉 新聞紙や段ボールの活用方法

新聞紙は、体に巻くと保温効果があります。

段ボールは簡易的な椅子になったり、さまざまな用途で活用できます。